

民生・家庭部門 3						
削減手段	太陽熱温水器の導入（戸建住宅）					
内容・算出根拠	集熱量 2,480MJ/m ² ・年（有効利用率 50%）で、戸建住宅に 3 m ² の集熱器を設置し、給湯に利用した場合 LP ガスの CO ₂ 排出係数：0.0586 kg - CO ₂ /MJ 都市ガスの CO ₂ 排出係数：0.0513kg - CO ₂ /MJ ただし戸建世帯のうち、LPガスと都市ガスの比率を 8：2 とする。また 2003 年時点での太陽熱温水器の導入比率を 7%とする（今回アンケート結果より）。					
削減量単位	LP ガスの場合：0.44 t-CO ₂ /戸・年、都市ガスの場合：0.38 t-CO ₂ /戸・年					
導入コスト	約 30 万円（LPG の場合：償却年数 7 年、都市ガスの場合：同 12.6 年）					
費用削減額	ガス代削減額：LP ガス 43,060 円/戸・年（総務省小売物価統計 05 年 9 月：603.1 円/m ³ ）、都市ガス 23,840円/戸・年（武陽ガスの一般ガス供給約款における一般契約 B 表料金：147.4 円/m ³ ）					
CO ₂ 削減コスト	耐用年数 15 年とした場合、削減コストはマイナスである。					
対象	一戸建て住宅					
目標	2010	全戸の 12%	2020	全戸の 20%	2030	全戸の 30%
戸数		1,198 戸		1,925 戸		2,627 戸
CO ₂ 削減量		211 t-CO ₂		514 t-CO ₂		798 t-CO ₂

民生・家庭部門 4						
削減手段	太陽熱温水器の導入（集合住宅）					
内容・算出根拠	集熱量 2480MJ/m ² ・年（有効利用率 50%）で、集合住宅に 30 m ² の太陽熱集熱器を設置し給湯に利用した場合 LP ガスの CO ₂ 排出係数：0.0586kg - CO ₂ /MJ 都市ガスの CO ₂ 排出係数：0.0513kg - CO ₂ /MJ ただし集合住宅のうち、LPガスと都市ガスの比率を 4：6 とする。					
削減量単位	LPガスの場合：4.36 t-CO ₂ /棟・年、都市ガスの場合：3.82 t-CO ₂ /棟・年					
導入コスト	システム自体は戸建住宅と変わらないが、配管・工事費などがかさむと考えられる。1 戸あたり約 50 万円と見ると、償却年数は LPG の場合：11.6 年、都市ガスの場合：21 年)					
費用削減額	ガス代削減額：LPガス 43,060 円/戸・年（総務省小売物価統計 05 年 9 月：603.1 円/m ³ ）、都市ガス 23,840円/戸・年（武陽ガスの一般ガス供給約款における一般契約 B 表料金：147.4 円/m ³ ）					
CO ₂ 削減コスト	耐用年数を 15 年とすると、LP ガスの場合マイナス、都市ガスの場合 2,485 円/t-CO ₂					
対象	集合住宅					
目標	2010	全棟の 1%	2020	全棟の 10%	2030	全棟の 20%
棟数		21 棟		213 棟		399 棟
CO ₂ 削減量		87 t-CO ₂		848 t-CO ₂		1,546 t-CO ₂